



令和6年度スタート 学校はどんな場所？

満開の桜の中、新年度を迎えました。桜の花も、子どもたちの入学、進級をお祝いしているようです。保護者の皆様、地域の皆様、令和6年度もどうぞよろしくお願いいたします。

新年度が始まるにあたって、めざす学校像について考えました。

Q 学校はどんな場所？

A **学校は、子どもも大人(保護者、職員、地域)も幸せになる場所**

Q どんなときに幸せ？

A 子どもにとっては、勉強がわかる・できる、学級が安心できる場所である、楽しい授業・行事がある など。保護者にとっては、子どもの成長を実感できる、安心して通わせることができる など。学校職員にとっては、子どもの成長した姿にやりがいを感じる、子どもたちの授業での反応が楽しみ、時間的・精神的なゆとりがある など。さらに、地域の方にとっては、子どもたちと関わるのが楽しみ、生きがいを感じられる、などが考えられます。

そのように幸せになる場所であれば、**明日も通いたくなる学校**になれると思います。

保護者・地域の皆様と手を取り合い、同じ方向を向いて、子どもたちが「元気いっぱい、笑顔いっぱい、優しさいっぱい」で学校生活を送り、「明日も通いたい」と思える学校をめざします。保護者・地域の皆様のご協力があるからこそ、子どもたちは健やかに成長することができます。今年度も引き続き、温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

(校長 古市和臣)



お知らせとお願い

1 周辺道路への駐停車 おやめください

朝、お子さんを自動車で送って、学校周辺の道路に駐停車する方がいます。これまでもやめてもらうようお願いをしてきたように、道路での駐停車はとても危険です。周辺住民の方から学校へも苦情がきています。やむを得ない事情によりお子さんを送迎する場合、緑門から入った学校の駐車場内でお子さんを降ろすようにしてください。

2 放課後の運動場利用 ごみと安全面での問題

学区内に子どもたちの遊べる場所が少ない、という声をお聞きしました。そのため、放課後には、子どもたちが運動場に遊びに来ることが多くあります。学校が居心地のよい場所であることは、とてもうれしいことです。

しかし、過去には、放課後の遊具で重大事故が起きた他校の事例もあります。冬場には、暗くなっても遊んでいる子がいて、職員が声をかけることもよくあります。また、お菓子や飲料のごみがそのまま捨てられていて、とても困っています。

今すぐに放課後の運動場利用を禁止することは考えておりませんが、安全のため、保護者の責任で遊ばせるようにしていただきたいと思います。ごみも持ち帰るように、家庭でも声かけをしていただけるとありがたいです。